

## 第4回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和5年12月21日（木）午前9時30分～午前11時30分
- 2 場所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室2・3
- 3 出席者：前田委員長、林田副委員長、杉浦委員、川口委員、北村委員、渡邊委員、島田委員、安藤委員

事務局：澤地課長、岡崎主査

### 4 資料：

#### ・次第

- ・資料 1-1 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第一次審査実施要領（案）
- ・資料 1-2 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第一次審査採点表（案）
- ・資料 1-3 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第一次審査集計表（案）
- ・資料 1-4 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第一次審査集計結果（案）
- ・資料 1-5 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第二次審査実施要領（案）
- ・資料 1-6 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第二次審査採点表（案）
- ・資料 1-7 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第二次審査集計表（案）
- ・資料 1-8 令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金第二次審査集計結果（案）
- ・資料 2-1 令和7年度実施分小田原市市民活動・協働応援制度市民×行政協働コース応募の手引き
- ・資料 2-2 令和7年度実施分小田原市市民活動・協働応援制度市民×行政協働コース応募の手引き（概要版）
- ・資料 3 UMECO第三者評価（令和6年度実施事業分）実施要領

### 6 会議内容

#### ■ 開会

#### ■ 議題（1）小田原市市民活動・協働応援制度について

委員長：議題（1）小田原市市民活動・協働応援制度について、①補助金の審査方法について、事務局からご説明をお願いしたい。

（事務局 資料 1-1～1-8 に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：今回から補助金のコース数が増えているが、上限額が高いコースへの応募が増えると、交付できる事業の数は減ると思われる。このことについて、現時点での応募状況等から問題はありそうか。

事務局：現時点では応募事業数等の見込みが難しい。上限額が30万円の旧ステップアップコースプランBについては、多いときで2件程度の応募であった。今回からはこのプランBはなくなって、別の30万円を上限額とする2コースが追加されており、交付できる事業の数が減る可能性は否定できない。

委員長：これまで審査において、スタートアップコースよりもステップアップコースの方が高評価となる傾向があった。今回の審査においては、スタートアップコースの優先枠を設定することで、新たに活動を始める団体にとって敷居が下がることが期待できる。

委員：市民×行政コラボアップコースについては事前相談を必須としているが、相談状況はどうか。

事務局：3件の相談があり、調整中である。出前講座等の既存制度との兼ね合い等から、応募に至らないものもあると思われる。

委員長：続いて、議題（1）②協働事業の募集について、事務局からご説明をお願いしたい。

（事務局 資料 2-1、2-2 に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

個別相談会はUMECOで重点的に実施し、それ以外の日は市役所において随時相談を受け付けるということで良いか。

事務局：そのとおりである。

委員：これまでの協働事業一覧が掲載されているが、ホームページや窓口で、より詳細な情報を閲覧できるか。

事務局：ホームページでは、一部事業について事業概要を付して掲載している。窓口では、事業に関する報告書類等を閲覧可能である。

委員長：ホームページでも詳細な情報が分かった方が良いか。

委員：団体の情報収集や関係づくりも必要なので、一概には言い切れないと考えている。

■ 議題（２）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価の振り返りについて

委員長：議題（２）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価の振り返りについて、事務局からご説明をお願いしたい。

（事務局 資料３に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：５段階評価だと、アンケートと同じように中間の点数に評価が集まりやすくなる可能性がある。良い点、悪い点をはっきりさせるのであれば、４段階評価の方が良いと感じる。

委員：４段階評価の事務局案では、２点と３点の基準となる文章の差す範囲が幅広くなり過ぎている。正確に評価するという観点では、５段階評価の方が適切と考える。また、５段階評価の方が、過去の評価結果との比較がしやすいだろう。

委員：資料⑦について、どの中間支援機能に該当する事項かなど、もう少し詳細な記載があると、総合的な評価が行いやすくなるので、４段階でも差し支えないと感じる。前回の指摘事項が改善されていれば３点とする、等である。

委員長：一般的に、指定管理者の評価は業務の仕様書に基づいて実施するが、本評価においてはUMECOの中間支援施設としての役割を重視する必要があるため、主に資料⑤における指標や成果に着目しながら、資料⑦等も考慮に入れて評価を行うことになる。最終的には、各委員の総合的な判断で採点することになるが、４段階評価の基準となる文章には改善の余地があり、再検討する必要がある。

委員：例えば４段階評価の４点と３点の文章では、「ほとんど」と「多くの」といった違いのみで、評価者の主観によるところが大きい。

委員長：各委員による個別評価は、それぞれの知見によるものであり、尊重されるべきである。委員会としての評価は、委員全員の評価点の平均をとるしかないだろう。

委員：基準の文中にある「指標」は、資料⑤の「令和６年度目標値」を指すのか。

事務局：資料⑤の「令和６年度実績値」が「令和６年度目標値」以上であれば、「指標」を達成している状態である。より誤解のない表記を検討したい。

委員：指標の達成を容易にするため、目標値を下げてしまうようなことがあると問題である。

委員長：目標値が妥当か、という視点も必要であろう。本委員会では定期的にUMECOからの事業報告を受けているので、そういった機会を活用し、意見交換できると良い。

委員：資料①について、市民活動団体がどれぐらい施設を活用しているか、表示できると良い。例えば、登録団体数を分母とした利用率を計算するなどである。

事務局：可能かどうか、UMECOと相談したい。

委員長：会議室については、旧市民会館の役割を引き継ぎ、どなたでも利用できることになっているため、登録団体の利用者が多いことをもって高評価とすることが適当かは、疑義がある。

委員：活動エリアの利用者を重視すべき、ということで承知した。

委員：中間支援施設によっては、活動分野別の利用状況を算出しているところもある。施設利用や相談業務において、分野別の状況が分かれば、事業計画を立てる際に役立つと考えられる。

委員長：様々な意見があったが、本日は指定管理者が出席していないため、後日事務局の方から確認し、可能な範囲で反映いただくこととする。

評価方法については、賛成意見の多かった４段階評価とし、基準の文章はより分かりやすくなるよう再検討することとする。

■ その他

委員長：その他について、事務局から願います。

(事務局 今後の会議日程の調整)

※調整の結果、今後の会議日程及び場所は次のとおりとなった。

第5回委員会・・・令和6年 2月26日(月) 午前 UMECO

第6回委員会・・・令和6年 3月17日(日) 終日 UMECO

第8回委員会・・・令和6年 6月22日(土) 午後 UMECO

■ 閉会